

題字 梅野 禮子 さん

第98号

2016年12月25日発行

高槻ライフケア協会

高槻ライフケア協会 25周年に寄せて**—高槻ライフケア協会の誕生を振り返って—**

平塚良子

25周年おめでとうございます。

私は、私事ですが大分大学を定年退職後、佐賀の西九州大学で教鞭をとるようになり早4年を迎えています。滋賀の自宅からあのあたりが高槻と車窓を眺めながら新幹線で通勤する日々を過ごしています。

高槻ライフケア協会は、有志による任意団体の設立、さらにNPO団体、そして平成17年9月に社会福祉法人として設立認可されるに至りました。現在、第二種社会福祉事業と公益・収益事業を行うまでとなっています。同時に、設立の趣旨を継承する制度に拘束されない自由で必要な活動を展開する特定非営利活動法人を運営する団体となっています。

1991年に高槻ライフケア協会の種が数名(障がいのある子どもがいる親御さんや当事者含む)によってまかれ、以来、多くの方々の協力を得て参りました。川

浪さん(現理事長)の呼びかけで人と人との網の目がつながり始めました。活動の担い手の必要性から自前のケアワーカー講座の開始、活動場所も市の障害者福祉センターの一室からアパートの一室へと変わり、相談援助や介護人派遣、研究活動など「無」から「有」へと転じる時が次第に起きてきたということです。

障がいのある人たちや要介護の高齢者、家族それぞれがこの社会で生きていくうえで重い課題を抱えている現実に対して、地域から何かをしていかないといけないのではないか。福祉や関連制度のもつ支援はあまりに貧弱で限定的。公的な福祉は人々の暮らしの思いとかけ離れている。うちの子も地域の一員に。資金も何も無いが支援団体を設立 etc.といった思いが共有され次第に組織的に動き始めました。当時すでに香川県高松市で始まっていたまごころサービスのモットー「だ

れでも、いつでも、どこでも」のようでありたいという思いもありました。高槻ライフケア協会の当時の設立趣意書には、「私たちは、誰もが自由にのびやかに生きることのできる社会を目指しています。… 中略 … 『高槻ライフケア協会』は、この制約の多い現実の中で、ハンディを持ちつつも一人の人間として町のなかで暮らしを営み、自己決定、権利擁護が日常的で自然になるような社会を、こころある人たちと手を携えて実現していきます。」と宣言しています。会員制を基本に障がいのある人、高齢者とその家族への福祉サービスを提供する団体として、相談業務や介護人派遣事業、権利擁護活動、研究活動を展開してきました。その願いは、誰でも、慣れ親しんだ場で良好な人間関係を基礎に地域社会で暮らし続けることを大切にしたいという素朴なものです。課題はさまざまありましたが、ライフケアは、人がどのように生きるか、生きられるか、ふさわしい時間と空間(場)、そこで生まれる豊かな社会関係のありようにこだわって

きました。

こうしたことに対する主役は、政府や行政でもありません。政府や行政は、せいぜい円の中に四角や三角などを描くにすぎません。市井の人たちが、関係者が、当事者が円にしていけるのです。また、これらの人たちが、国や県、市の足らないことを補うというのではなく、社会や人々の暮らしを冷徹に、かつ、温かく見つめながら知恵を出し合って時代を先取りすることです。その賛同者、参加者、協力者、担い手を得ることです。補うだけの役割という意識だけでは翻弄されかねませんし、疲弊していただくだけです。「無」から「有」の世界が生まれた高槻ライフケア協会の背景には、そうした価値観が共有されて協同できたのだと考えます。今日、介護についてはとくに厳しい現実が押し寄せている時代にありますが、同じような理念を掲げ実践している方々とも連携と協同して、地域で支えるよい仕組みを創っていかれますように。協会のますますの力強い発展を祈っております。



平塚先生を研究代表に実施した調査研究の成果

- ①全人的総合的な在宅ケア・プランニングに関する調査研究
—エコマップ(福祉生態地図)による図式的分析を通して—
1994年度 全労済高齢社会問題研究助成 B5版 41 ページ
- ②障害者の在宅ケア推進のための研修プログラム開発研究
1996年度 財団法人キリン福祉財団助成事業 A4版 96 ページ
- ③非営利団体等ソーシャルワーカーの援助スキルの開発研究
1998年度 社会福祉・医療事業団「長寿社会福祉基金」助成事業 A4版 105 ページ

高槻ライフケア協会設立趣書

私たちは、誰もが自由にのびやかに生きることのできる社会をめざしています。しかし、周囲を見まわすと、管理・抑圧・差別に満ちた現実があります。

高槻では、地域で「共に生きる」という理念のもとに、さまざまなすぐれた実践が取り組まれてきています。しかしながら、全身性や身体の障害がある場合は「介護する人がいない」「道路には段差、駅には階段」などで、自由に外出できない人も多く、なかには10年、20年と在宅で過ごしている人もあります。自由に町のなかを行動できる人には、その行動や障害について市民の偏見や人権侵害も少なくありません。母親や家族は、育児・教育・生活、将来のことなど悩みは尽きず、しかも年老いていくなかでの不安もあります。一方、公的な福祉サービスの現状を見ますと、ホームヘルパー派遣事業は時間やサービス内容について制約があり、日々の生活の中で生じる悩みを相談しようとする、行政の窓口をたらいまわしにされることも少なくありません。自由に外出したい、家族が一時的に休息を取りたいと思っても、利用できる福祉サービス内容にも制約があります。

『高槻ライフケア協会』は、この制約の多い現実の中で、ハンディを持ちつつも一人の人間として町のなかで暮らしを営み、自己決定、権利擁護が日常的で自然になるような社会を、こころある人たちと手を携えて実現していきます。

『高槻ライフケア協会』は、会員制を基本に、障害をもつ人や高齢者とその家族への福祉サービスを提供する団体として設立します。主要な活動として、介護人派遣事業、相談業務、などを行ないます。介護人派遣事業は、利用する人達が主体者としての選択権をもち、契約関係に基づいて実施するものです。相談業務は弁護士や精神科医など専門家と連携し充実を図り、会員が気軽に活用できるようにします。同時に、ハンディをもつ人たちの権利擁護の活動も推進していきます。私たちの活動が個人への援助にとどまらず公的な社会保障の充実に寄与するものであることを確信いたします、

『高槻ライフケア協会』がめざす地域づくりに、多くの市民のご賛同とご協力をもとめています。そして、私たちと一緒にスタッフとしてサービスの利用者として参加し、活動するあなたを待っています。

1991年5月14日

<発起人> 岩佐嘉彦(弁護士) 梅田和子(高槻自閉症児親の会) 川浪スエ子(施設職員)
近藤好男(作業所連絡会) 斎藤雅子(障害者自立フォーラム代表) 檜原 宏(高槻自由福音
教会牧師) 平塚良子(キリスト教保育専門学校教員) 松上利男(京北やまぐにの郷施設長)
山本紀子(料理研究家・編物作家) 脇田憲一(北摂・高槻生活協同組合理事長) (アイウエオ順)

事業所だより



通所介護

天気の良い日に大樋公園にどんぐり拾いに出かけました。木々は黄色、赤、緑とさまざまな色に変化していました。「紅葉やあ、きれい」「どんぐりがいっぱい落ちてる！」と大きな声が次々とあがりました。皆さん目を輝かせながら拾っておられました。外の冷たい空気、どんぐりや木の実など

の自然に触れ、季節を感じていただきました。少しでも外に出て、利用者の皆さんに季節感を味わっていただくことは、とても大切だと考えています。拾ってきたどんぐりも使ってクリスマスのリース作りをしています。



くらし創造の家 朋(とも) 生活介護

夏も終わり秋へと移り変わるころ、生活介護では“コスモス畑を見に行く”という毎年恒例の行事があります。近年では U さんが「そろそろコスモスの季節やな！見にいかなあかんな！」と元気いっぱいに教えてくれます。いざコスモス畑に行くときり一面コスモスで埋め尽くされた光景に行くことに乗り気でなかった方や普段あまり表情を出さない方もみんな笑顔で楽しんでいました。

秋の終わりには生活介護と小規模多機能型居宅介護での合同運動会が開かれました。事前準備で玉入れのボールや飾りの国旗などを利用者さんと一緒に作り、みんなで一丸となって開催できました。本番当日は利用者さんが玉入れやパン食い競争を楽しんで生き生きしている姿が印象的でした。秋晴れで始まり、終わる頃には笑いの熱気で真夏のような運動会でした。

お知らせ



第10回

朋(とも) 春の交流会



恒例のバザーやつくたてのお餅、今年は2階で折紙のお箸袋や爪楊枝入れなどが作れるコーナーを設けます。乞うご期待下さい！好評の煎れたてコーヒーもあります。是非お立ち寄り下さい。

2017年**3月22**日(水)10:00~14:00 くらし創造の家 朋(とも)

くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護



毎年恒例の運動会を生活介護と合同で開催しました。

選手宣誓が始まると、利用者・スタッフの顔が緊張し、いつになく真剣な表情になっていました。借物競争では、紙に書かれている物を必死で探していると、皆さんの協力がありました。普段座ってばかりの I さんが笑顔で立ち上がり元気に体操をしていました。杖でゆっくり歩いている M さんは、その

杖を忘れるほどの勢いでパン食い競争にチャレンジし、パンを取るとその場で早速、食べ始めたのにはみんなびっくり！！美味しい顔・・・利用者さんの笑顔があふれて楽しい時間をすごしました。

今年も残りわずかとなりましたが、入院していた K さんも帰って来られ、賑やかなお正月を迎えることができます。



あすなろ 小規模多機能型居宅介護

あすなろでは高さ10cm程の大きなまつぼっくりをクリスマスツリーに見立て、利用者さん1人1人に飾りつけをしています。Mさんは1つ1つ飾りをつける度に“わぁキレイ、宝石みたいね”と目を輝かせ、Yさんは自分の飾り付けに満足されたのか“これ早く持って帰って家に飾りたいわ”と、Tさんは“これ

がいいかな、次はどの色にしたらいいか？”とスタッフと一緒に考えながら作りました。Uさんは“私細かいことするの以外と好きなのよ。クリスマスツリーの飾りつけは久しぶりで懐かしいわ”と笑顔で熱心に飾り、たくさんのクリスマスツリーが仕上がりました。



※あすなろの柿の生け花 (Uさん作)

あすなろ 地域交流センター

一年は早いです。年の瀬が近づいてきました。一年間を振り返って、新しい出会いもたくさんありました。2年目になると馴染みの人も増えてきました。大勢の方のご協力で地域交流センターを支えていただき、ありがとうございます。秋には“あすなろ”の木と一緒に植えた柿の木に実がなりました。あすなろ建設時に、裏にあった柿の木を移植したものです。一年でこんなに立派な柿の実がなり、皆で驚いています。近くの小学生も通学の行き帰りに、楽しみにしていました。

天の橋立、バス旅行の感想

三洋住建 永田 義和

高槻ライフケア協会後援会旅行に初めて参加させていただきました。今年の9月は雨の多い日が続く中、今日も雨が降るかと思っていましたが、良い天気恵まれ、一日楽しい旅行ができました。皆々様の日頃の心暖まる行ないを、天も見ておられ、天橋立に迎えられたようですね。私はいつも自分で車を運転して日本海方面によく行っていますが、今日は久しぶりにバスに乗せてもらい、日頃は見る事ができない景色などを車窓からゆっくりと見せてもらいました。天橋立に向かう途中、“^{なごみ}和道の駅”に休憩のため寄りました。介護士さん達が介護者の方々を、大事にバスから抱き上げ、車椅子に乗せられトイレ等に連れて行かれていました。若い介護士さんなのに、本当に力が強く、心強く感じさせられました。休憩後、天橋立に向かうバスの中から外の景色を見ていると、田の稲穂もほとんど刈ってありました。高槻では毎年10月中頃の稲刈りが多いようですが、京都の奥は収穫は少し早いようです。また、高速道路が山崎インターより日本海側方面に全てつながり、一般道を通行する車両が減り、商売をされていた店舗が多く

閉まっていました。時の流れで、人の流れや商売方法がいろいろと変わってきたようです。高速道路が整備されて、短時間で天橋立に着きました。バスを降り、集合場所のケーブル乗場では、介護士さん達が介護者の方を車椅子に乗せて、坂道を力強く押して来られ「本当に力強いなあ」と感じました。皆で傘松公園展望台にロープウェイで上がり天橋立、宮津湾を眺めました。天橋立はいつ見ても、姿・形を変えることなく力強い木々に守られ、波・風に耐えていました。この景色を見て、人という字を思いました。今日、介護士さん達の力強く優しい、人に対する接し方を天橋立の姿と同じと感じ、人も和をもって生きることを強く感じました。「自分ができることはすべき」とつくづく思い、自分も歳をとり、これからの人生をどう過ごせるのかと、いろいろと考えさせられた良い旅行だったと思いました。有難うございました。



サービス提供実績報告 (2016年9月～11月)

◇社会福祉法人

《訪問介護》

利用件数	2,785 件
利用時間	2,167.21 時間
生活援助	1,149.37 時間
身体介護	1017.84 時間

《介護予防訪問介護》

利用件数	1,039 件
利用時間	1,001.08 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	444 件
利用時間	430.5 時間
家事援助	295.5 時間
身辺ケア	79.5 時間
社会的援助	55.5 時間

◇特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》

利用件数	34 件
利用時間	2,250 分
利用距離	693 km

《障害福祉・居宅介護》

利用件数	3,258 件
利用時間	3,237.00 時間
家事援助	1,399.25 時間
身体介護	1,620.50 時間
通院介助	217.25 時間

《重度訪問介護》

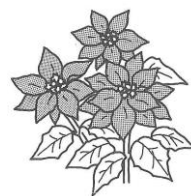
利用件数	174 件
利用時間	309.50 時間

《同行援護》

利用件数	280 件
利用時間	616.00 時間

《移動支援》

利用件数	599 件
利用時間	1,845.5 時間



物品販売にご協力ください

□コーヒー（豆、挽）

焙煎工房タイムリーのティールーム
で使用している特別焙煎豆

1 kg : 1,700 円 500 g : 850 円

□泉州わかめ

100%大阪湾泉州ワカメを使用した
こだわりのワカメです。

塩わかめ 130 g : 300 円

茎わかめの佃煮 130 g : 300 円

□りんごジュース

長野県の岩下りんご園

1 箱 6 本入り 4,500 円

□島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1 kg～5 kg : 1,200 円～5,300 円

*高槻市、茨木市、島本町、枚方市は
送料無料(その他の地域は実費)

□おとひめこんぶ

南北海道蝦法華村の黒口浜一帯で
育成された真昆布一年物です。

1 袋 : 500 円



年末年始のお休みのお知らせ



- ◇居宅介護支援 12月31日(土)～1月3日(火)
- ◇通所介護 12月31日(土)～1月2日(月)
- ◇生活介護 12月31日(土)～1月4日(水)
- ◇事務所 12月30日(金)～1月3日(火)

※ 訪問介護、小規模多機能型居宅介護、居宅介護、移動支援、ケアワーカー派遣サービスは変わりなく活動しています。

ご協力に感謝します (敬称略・順不同)



<社会福祉法人> 2016年9月26日～12月15日

◇寄附金 2016年度累計 82口 1,224,000円

牧口 明、高槻ライフケア協会後援会、安見次生、川浪スエ子、小谷啓二、小谷泰子、小谷陽子。

◇寄贈 中嶋行雄、立川登紀雄、田尻忠吉、井上吉弘、藤森善重。

◎社会福祉法人高槻ライフケア協会への寄附金は、確定申告の際、税額控除制度の適用を受けることができます

<NPO法人> 2016年9月26日～12月15日

◇後援会費 2016年度累計 299,000円

馬庭京子、大神尚武、北 健夫、乾千鶴子、高原春男、青木千代子。

◇寄附金 2016年度累計 43,000円

《追悼》

坂元勝利様が11月25日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【編集後記】

お正月が近づいてきました。今では元旦からスーパーが開店しているので、おせち料理を作らない家庭も多くなっているようです。『おせち料理』という伝統が薄れており、寂しさを感じます。おせち料理の中で「一番好きなものは何ですか」と利用者さんやスタッフに尋ねたところ、ベスト3は“黒豆”“栗きんとん”“数の子”でした。食の記憶を大切に利用者さんからのアドバイスを受けながら今年はがんばって作ってみようと思います。よいお年をお迎えください。(A)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町 5-7

〒569-0802 高槻市北園町 4-19

TEL (072) 683-4945

TEL (072) 682-4119